

令和5年度 自己評価

評価項目1 教育課程・指導

(1) 方針1

園生活を通して、好奇心や探求心をふくらませ、発見する喜びを知り、発想や表現の豊かさを身につけ、他者を認め尊ぶ大きな心を育む。

対応及び反省

事前、またその過程において話し合いを十分に持ち、教員の情報共有と確認を徹底する。活動後、多角的に評価し反省点を改善する。常にスキルを高める意識を持つ。

感染症が5類に位置付けられたことにより、徐々に日常が戻りつつある。しかしながら、コロナ禍の間に原点を見つめなおした経験を活かし、できることを発見し、喜び、工夫し、急がず丁寧に取り組む姿勢を維持しながら課程を修了することに努めた。この間に於いても教育の本質が損なわれたとは考えておらず、当園の伝統を大事にしつつも固執することなく、一人一人に注目し対応する、原点回帰の教育を継続した。

評価；A

(2) 方針2

表現教育を実践する中で、子ども自身で気づき、感じ、目的意識を持ち、達成のための努力と周囲への協力を惜しまない、責任感を伴った能動的な心を育む。

対応及び反省

日々の保育や行事への取り組みにおいて、子ども一人一人の心身の発達の状態を見極め、適切な指導をするよう情報共有を引き続き徹底し、更に状況に柔軟に対応し、最善の方策を模索し実現に向け努力する。それぞれの可能性と負荷のかからない実現性に考慮、実践に努めた。個人差のある中で、個々の成長を見極めつつ、他機関との情報共有等進めていった。

評価；A

(3) 方針3

保護者と連携して情報を共有し、協議する関係を確立し、子どもの成長のために最善の方策を追求する。

対応及び反省

引き続き、例会や役員会、個人面談等において、共通の理解や認識を持つべく説明・意見交換等を行い、様々な機会を活用する。相互理解にたどり着くことを目指し対話を重ねる。

評価；A

評価項目2 安全・保育管理

(1) つばみ幼稚園学校安全計画の遂行

対応及び反省

計画通りとはいかなかったが、結果的に準拠した。教員のスキルアップ、情報把握等については、引き続きレベルアップを目指す。

雨天等になった場合に実現性の低い計画は見直し、様々な事態を想定した中での最善策を考えていく。園内消火訓練等、保護者対象の訓練を行った。

評価；B

評価項目3 組織運営

(1) 職員体制

対応及び反省

園長職が引き続き空席、副園長が兼務した。正規ではないものの次期園長を園長として認識することで、子どもにとって格段の不足はないと見受けられる。

正規教員とパート職員との連携は引き続き優良である。

評価；A

(2) 研修

対応及び反省

近年はリモート研修により、長期休業や保育のない時間を選ばなくても多くの研修に参加できている。教員の連携により、リアルな研修に参加できる体制もとられており、引き続き教員のスキルアップを目指していきたい。

評価；A

(1) 保護者との連携

対応及び反省

連携は良好と思われ、例会、個人面談、役員会を活用して、引き続き保護者と連携をとる。

評価；A

(2) 地域住民との連携

対応及び反省

運動会の練習時、隣接した町会と連絡、協力を得られている。地域の一般の住民との連携は未だ希薄で、改善策を実行できる機会がなかった。関係の構築方法については引き続き模索していきたい。

未就園家庭としては、市と園長会共催の幼稚園フェアが再開された。未就園児家庭と繋がる機会を得たら、活用していきたい。

評価；B

評価項目5 子育て支援

(1) 幼稚園型預かり保育

対応及び反省

11時間開所の預かり保育体制を整えてはいるが、母親のフルタイム就労数が少ないこともあって、利用者はわずかである。一時利用は家庭ごとに必要時に利用し、保護者会等では、ほぼ全員が利用している。

朝の預かり保育は一部需要があり、必要時の利用に対応した。

評価；A

(2) 一般型預かり保育

対応及び反省

非在園児の預かり保育は、未就園児では弟妹等、縁故関係者に限られ少数だが需要があり、人員配置等、工夫して対応した。小学生の預かりにもまれに対応している。

評価；A

(3) 未就園児（2歳児）クラス、ひよこ組

対応及び反省

ひよこ組会員が入園する、しないに関わらず2歳児の保育は大事に考えたい。周知等に課題があるが、利用者の中である程度の入園希望が見られる。

来年度、都の「多様な他者との関わりの機会創出事業」に賛同し、2歳児の預かり保育〈たまご〉を年12回程度開催する予定である。

評価；A

(4) 未就園児家庭に対する取り組み

「せんせいとあそぼ!」「園庭開放、プール開放」「幼稚園体験会」「ひよこぐみ体験会」

対応及び反省

「せんせいとあそぼ!」は、希望者がほとんどなく中止した。園庭開放や幼稚園体験会は、ほぼ例年通りの形で開催した。2歳児の発達や、次期就園家庭の子育て支援を考慮し、来年度も実施する予定である。

プール開放は予約制で利用者数と時間に制限を設け行った。

評価；B

評価項目6 環境設備

(1) 園内設備

対応及び反省

税務署により税務調査が行われ、適性が認定された。

消防署により立ち入り点検が行われ、指摘された部分を改善した。

評価；A

評価項目7 情報提供

(1) 個人情報

対応及び反省

個人情報については、引き続き注意を払い対応する。

評価；A

(2) 幼稚園に関する様々な情報

対応及び反省

引き続き、関係者において情報を公開し、幼稚園運営における透明性の維持を図る。

設置者変更に向け、都の認可を待っているが至っておらず、都による認可判断が待ち望まれる。

評価；B